



新年、明けましておめでとうございます。

さて、昨年はラグビーワールドカップが大変盛り上がりましたが、日本チームの活躍は日本人だけでなく、ニュージーランド、トンガ、南アフリカなど海外出身選手との混成チームで長く厳しい合宿を経験し「One Team」を合言葉にまとまったからこそ、目標としたベスト8が成し遂げられたと思います。

その中で、関心を引いたことの1つは、長谷川スクラムコーチが「間合い」や「塩梅(按配)」は外国語に訳しても伝わりにくいいため、一緒に生活をする中で日本語のもつ感覚を理解してもらおうように努めたとのこと。もう1つは、選手の背中にはGPSデバイスが装着されており、各選手のデータを収集・管理することで、ケガのリスクを下げ、試合に向けて選手のコンディションを管理しているとのこと。

私はラグビーの記事を見るたびに、当センターとの共通点に感心していました。当センターは、医師・看護師・療法士・介護士など多職種の職員がまさにワンチームとして患者・利用者の方々にわかりやすい言葉での対応を心がけています。一方で、3次元動作解析装置、ロボットスーツ(HAL)や自動車運転シミュレーターなど先進的な機器を使つてのリハビリテーションを提供しています。

今年も、利用者の方々、地域の方々の負託に応えるよう精進してまいりますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



理事長
野中 康
のなか やすし

『ふれあいひろば2019』開催

11月2日(日)に『ふれあいひろば2019』を開催しました。当日は晴天に恵まれ、多くの地域の皆様にご来場いただきました。ポップコーンやたい焼き・金魚すくいなどの店舗が立ち並び、行列ができるほど会場は大賑わいでした。屋内ステージでは、伊東高校吹奏楽部が演奏を披露してくださり、迫力ある生演奏に入院患者様から感動したとの声をいただきました。

そして、今年は特別講演として沼津出身 ウィルチェアラグビー日本代表 若山 英史 選手をお招きし、「夢への奇跡」～僕の「あきらめない」を伝えたい～をテーマに講演を行いました。

皆さんは『ウィルチェアラグビー』をご存知ですか？

日本語で「車いすラグビー」と言い、頸髄損傷や機能障害など四肢に障害を持つ方が、巧みな車いす操作でゴールを狙う競技です。競技にはラグビー・バスケットボール・バレーボール・アイスホッケー等の要素が組み合わされており、その球技の激しさから「マダーボール」「殺人球技」とも呼ばれています。

2020年に開催される東京パラリンピック公式種目のスポーツでもあります。若山選手は、水難事故で頸椎を損傷し2004年10月に当センターへ入院されました。ご家族様やご友人に支えられ、懸命にリハビリテーションに励まれた結果、2005年10月に当センターを退院されました。

その後、2008年ウィルチェアラグビーと出会い、2011年に日本代表に選出され、現在は日本代表の主力選手として活躍されています。

日本代表として、自分の名前の入ったユニフォームに身を包み、遠征先で歌った君が代は、日本を背負って世界と戦う重圧と、今までの事が思い出す

れとても感慨深く、自然に涙が溢れた。そして、2012年ロンドンパラリンピックに初出場、2016年リオデジャネイロ大会では銅メダル獲得に貢献されています。

当日はリオデジャネイロ大会で獲得した銅メダルを持参していただき、実物に触れさせて頂きました！思っていたよりずりりとして、これが日本代表の重責かと思うと恐れ多くて、緊張で手のひらが汗でびしょりになりました。講演会終了後は、聴講者との写真撮影にも気さくに応じてくださりました。

2020年東京パラリンピックでは、国立代々木競技場でウィルチェアラグビーの試合が開催されます。オリンピックの試合を日本で観戦できる、またとない機会ですので皆さん地元沼津出身の若山選手を応援に行きましょう！

最後に、ふれあいひろば開催にあたり、ご来賓の皆様、協賛を頂きました企業の皆様、ご来場頂きました地域の皆様のご厚情に深く御礼申し上げます。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。



地域の皆様こんにちは!!理学療法科です



理学療法科では、脳卒中や脊髄損傷等で体に麻痺を呈した患者様へ、運動機能の回復、日常生活に必要な動作の改善、最終的には生活の質(QOL)の向上のため、それぞれの患者様に適した支援を、患者様、ご家族と一緒に考え、行っています。

特色1 こんな動作を支援します

- 元気に家の周りを歩きたい。
- ベッドからの起き上がりを楽にしたい。
- 膝や腰が痛くて立ち上がれない。痛みなく動きたい。
- 仕事に戻るための体力を回復させたい。 etc...

患者様の目標達成を支援します!!

特色2 県内有数の先進的設備

- ロボットを使用した理学療法で、運動の学習を高めます。
- プロスポーツの現場等でも使用される、動作解析装置を用いて、患者様の動作の特徴を把握し、運動プログラムの作成に活かします。

中伊豆リハならではのプログラムを用意しています。

特色3 温泉の効果を存分に…

- 室内の温泉プールで、体力UPを図ります。
- 浮力を利用して、膝や腰に負担をかけずに運動を行います。
- 温熱作用により体の柔軟性を高めます。

リラックスして運動に集中できる環境です。



- ★理学療法士が1人1人に適した運動プログラムを考えます!
- ★365日、休まず理学療法を提供します!
- ★全国的な学会発表など実績多数あり。スタッフ全員日々研鑽!

※理学療法が提供できる時期や疾患が定められています。詳しくはお問い合わせください。電話:0558-83-2111(代)



脳卒中認定理学療法士
小林 庸亮



脳卒中認定理学療法士
鈴木 達也

**全力で支援させていただきます。
よろしくお願ひ致します。**

編集
発行

社会福祉法人
農協共済中伊豆リハビリテーションセンター

〒410-2507静岡県伊豆市冷川1523-108 TEL.0558-83-2111(広報委員会)

中伊豆リハビリテーションセンター



発行日 令和2年1月25日

